

## (2) 回答状況

図表 3-20 事後調査回答状況

事後調査票 発送施設	100	事後調査票 回収施設	64	うち分析対象施設	40
				うち分析対象外施設	24
		(事後調査票 未回収施設)	(36)	(うち分析対象施設)	(27)
				(うち分析対象外施設)	(9)

※調査期間：平成19年4月25日～平成19年5月14日  
(5月25日までに着信した回答を集計対象とした)

## 3.5.2. 調査に対する対応可能性の検証

本調査研究の調査票1～4に関して、作成・提出状況および難しかった点について聞いたところ、以下のとおりの回答となった。

## (1) 調査1. 収支計算ファイル

図表 3-21 「調査1. 収支計算ファイル」

		N= 64	
		N	%
問1. 作成・提出状況			
・ 作業は特に問題はなく期日までに提出できた		4	6%
・ 期日までに提出できたが作業が難しい箇所があった		51	80%
・ 期日通りに提出できなかった		9	14%
問2. 作業が難しかった点・問題があると感じた点			
・ 看護師や職員が診療科を兼任している場合の給与費や人員数の算出が難しかった		36	56%
・ 部門を中央診療と補助管理に振り分けるのが難しかった		26	41%
・ 保険等査定減の各部門(診療科)への細分化が難しかった		25	39%
・ 複数の部門(診療科)で共有している場合の面積の算出が難しかった		20	31%
・ 当院の会計科目を調査票の科目にあわせるのが難しかった		19	30%
・ 要綱が分かりづらかった		15	23%
・ 全体収支データを1か月分として計上するのが難しかった		14	22%
・ センター方式を採用している部門の診療科別の医師勤務日数の算出方法が難しかった		12	19%
・ 標榜診療科と診療報酬請求時の診療科コードの対応が難しかった		9	14%
・ 包括払い分の収益の記載方法が分かりづらかった		7	11%
・ 入院部門における患者数の数え方が難しかった		3	5%
・ その他		7	11%

調査1に関し、大半の病院が作業に難しい箇所があったと回答している。難しかった点・問題があると感じた点として、「診療科兼任の場合の給与・人員の算出」「中央診療部門、補助管理部門の振り分け」「保険等査定減の診療科への振り分け」等が多くあがっていた。